



石橋 達八 議員
(無会派)

新規就農者の増加・定着策を

一括質問方式

組みについて伺う。

問 当市の地域活性化で、農業の振興は重要な位置づけがされる。耕作放棄地の増加や、高齢化が進むなか、新規就農者の更なる増加、定着を進めるべきではないか。また、六次産業の積極的な取り組みを望む。

答 将来、有望な青年農業者について、遠野市農林水産振興大会で奨励部門を設け、表彰、激励している。新規就農者の支援のひとつとして、アドバイザーの活

動により、既存設備等の経営資源を円滑に継承・有効活用ができるよう、きめ細やかな情報収集とマッチングに努めていく。六次産業化については、動向を捉えながら積極的に支援をしていく。

問 子育て支援の上からも、不育治療に対する公費助成ができないか。

答 県内で、不妊治療費助成は32市町村中、13市町村が実施しているが、不育症治療費の助成は行っていない状況。今後、支援を検討していきたい。

ス方式で進められないか。

答 「都市鉱山」とも呼ばれる使用済み携帯電話や、小型家電に含まれる希少金属や貴金属の資源の回収は大切と認識している。今後、県、民間企業・団体と連携しながら資源回収に努める。LED照明については、現在市内の一部で採用しているが、その検証を踏まえ、他の施設への拡大も検討したい。導入方式については、財政計画を持つ必要があることから、リース方式についても検討する。

問 今こそ平和教育が求められる。当市教育への取り

答 戦争の悲惨さ、広島・長崎への原子爆弾の投下については、小中学校の社会科の内容として、「国民が大きな被害を受けたこと」「戦争が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させ、国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であること」を教えることになっていく。これらの取り組みに、東日本大震災により岩手県全体で新たに取り組んでいる「復興教育」を加え、いのちの大切さ、人と人との絆の大切さを伝えていきたいと考えている。

問 循環型社会の構築のため、携帯電話や小型家電等のリサイクルやLED照明の公共施設への導入をリ

不育症治療費への助成は



12月2日に開催された
ハッピーバースデーゆりかご&
元気わらすっこ暖らん会